

(別紙5)

整理番号 2023P-039
補助事業名 2023年度自転車安全利用等、人にやさしい健康で安全な社会づくりの推進、
交通マナーや正しい乗り方などを啓発する事業補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 自転車普及啓発イベント

ア) 自転車に関する企画催事 [\(2024 ハンドメイドバイシクル展報告書\)](#)

下記の企画催事を開催した。

名 称：『2024 ハンドメイドバイシクル展』

期 間：2024年1月20日(土)～1月21日(日)

開催場所：科学技術館 1～5号催事場(東京都千代田区北の丸公園1-1)

内 容：当展示会は国内における経験と実力を持ったハンドメイドビルダー、メーカーの実車・部品等を展示し、その高い技術と自転車に対する深い造詣、そうした匠の技を自転車愛好家だけでなく広く一般の方々にも分かりやすく紹介し、ハンドメイドバイシクルの魅力を発信することを目的としている。
併催したトークショー先着順に整理券を配布(無料)した。今回初めての試みとして水なし洗車教室「シュアラスター×東京サイクルデザイン専門学校 presents」を開催し講義を聴く他、自転車を持ち込み体験の機会も作った。

来場者数：2,442人



会場の様子①



会場の様子②

イ) 自転車に関するテーマ展示

自転車が日常生活の中で利用する(通勤・通学・買い物等)以外にも多様な面を持っている事を自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、解り易く来館者にその魅力を紹介するため、以下のテーマ展示を行った。

㊦ 第1回テーマ展示「春～夏 自転車に乗ってみよう！」 [\(第1回テーマ展示報告書\)](#)

期間：2023年4月26日(水)～9月3日(日) 来館者数：954名

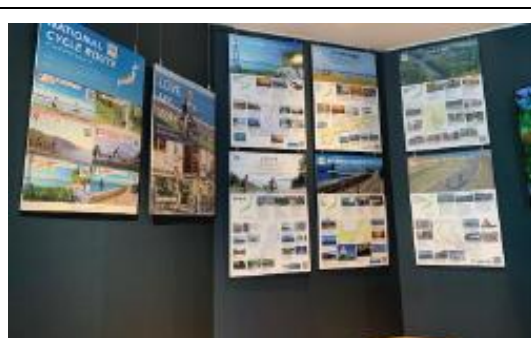
(別紙5)

① 第2回「夏～秋 ギミック 仕掛けの世界」(第2回テーマ展示報告書)

期間: 2023年9月6日(水)～12月10日(日) 来館者数:1,031名

㊦ 第3回テーマ展示「自転車で運ぶ」(第3回テーマ展示報告書)

期間: 2023年12月13日(水)～2024年3月31日(日) 来館者数:667名



「春～夏 自転車に乗ってみよう！」



「夏～秋 ギミック 仕掛けの世界」



「自転車で運ぶ」

ウ) 自転車月間イベント (<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2023/>)

「サイクルドリームフェスタ 2023」

(別紙5)

㊦ 5月5日「サイクルドリームフェスタ 2023」をYouTubeにてLIVE配信した。



㊦ 動画制作 2023年5月5日(金・祝)

「自転車月間(自転車の日/5月5日)」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、当日会場内にて動画撮影を行い、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ』とはどんなイベントなのか? イベント告知用にYouTubeで動画を配信した。



㊦ 自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーン

[2023年度統一事業実施報告書\(春\)pdf](#)

[2023年度統一事業実施報告書\(月間\)pdf](#)

[2023年度統一事業実施報告書\(秋\)pdf](#)

バイコロジー地域リーダー養成セミナー [2023年度地域リーダー養成セミナー報告書pdf](#)

コロナ禍において、細心の注意を払いバイコロジー地方組織交通ルールの遵守と自

(別紙5)

転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を実施した。

更に東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 稲垣具志 准教授に、「自転車事故の当事者とさせないために伝えることは？」をテーマとしてセミナーを開催し、自転車事故を防止するために大切なポイントと、講習会等で話を聞いてくれた方が実践してくれるコツやヒントをお伝えした。

1 	2 	3 
統一キャンペーン（山形）	統一キャンペーン（岐阜）	統一キャンペーン（山口防府）
4 	5 	6 
セミナー会場 看板	セミナー会場 講師：稲垣氏（左側）/MC：村山（右側）	セミナー配信風景 撮影チーム（本会職員）

2 予想される事業実施効果

①自転車普及啓発イベント事業

ア)企画催事

国内最大の自転車イベントにおいて「ハンドメイドバイシクルコレクション」のコーナーを設けるなど、当センターのハンドメイドバイシクル展を参考にした企画がなされた。この一例を取っても存在価値のあるイベントのため、様々な方面からの興味を引き付けて来場者の増加を図ることで、直接的な目的でもある自転車産業の発展が期待される。

イ)テーマ展示

SNS等の影響もあり歴史的な自転車にも注目が集まったり、折り畳み式自転車を携行して電車で移動し目的地について自転車で散策するなど、色々な角度から自転車に対する関心が高まっている。あらゆるニーズに応えられるよう情報展示を行い自転車文化センターの事業・存在の周知を続け、自転車に関する情報の駆け込み寺的な存在になる。

ウ) 自転車月間イベント

「自転車の日」記念行事を通じて「5月は自転車月間」の周知・趣旨の浸透が図られ、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

いろいろなタイプの自転車に試乗できる体験型イベントの実施に加え、会場内で展開されるBMX パフォーマンスショーや、普段の自転車とは異なったMTBやBMXを使用している子ども自転車教室を体験してもらう事で、自転車の持つ魅力や安全に乗ることの大切さを学んでもらい、SNSを活用した広報やYouTubeによる動画配信も導入することで、会場に来られない方への周知を行い、一般来場者のみならず、国や地方自治体、警察等公的機関へもピーアールすることでイベントへの関心が高まり、継続して実施することで、本イベントの知名度も上昇し自転車月間の目的をより一層効果的に果たすことに繋がると期待できる。

②自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーンを実施することで、自転車利用者に「正しい自転車利用の啓発」を行い自転車交通ルールの再認識をしてもらう。

東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 准教授を講師にお招きしたセミナーで得た知識を、各地域の自転車利用推進担当者や一般の方々に周知することを通じて、今後各自治体が推進する自転車啓発活動の一助となる事が期待できる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

・ハンドメイドバイシクル展

		
チラシ・ポスター Bicycle Club版下	Cycle Sports版下	会場図パンフレット

(別紙5)

- ・ 令和5年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業

(<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2023/>)

		
チラシ (表)	チラシ (裏)	報告書

- ・ 自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット

	
パンフレット(表)	パンフレット(裏)

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの


ハンドメイドバイシクル展 来場者アンケート

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人 日本自転車普及協会
(ニホンジテンシヤフキュウキョウカイ)

住 所： 〒141-0021
東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代 表 者： 会長 小泉 昭男 (コイズミ アキオ)

担当部署： 事業課 (ジギョウカ)

担当者名： 事務局次長 村山 吾郎 (ムラヤマ ゴロウ)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail: murayama@jifu.jp

U R L : <https://www.bpaj.or.jp>